

2011年10月1日発行

NPO法人 RGS 協会発行 編集人 堀内孝之 〒146-0094 東京都大田区東矢口 2-18-17 ●TEL 03-3757-3389 ●FAX 03-5482-8827

私とシャンソンの出会い

庄司 淳



皆様とお会いするのは初めてかもしれませんが、自己紹介としてシャンソンとの出会いをお話ししようと思います。皆様も私と同じようにシャンソンが大好き方でしょう。ある日シャンソンに出会って、そして共に人生を歩んでいらつしやったと思います。

二〇歳くらいだったと思います。アズナブールのLPを一枚買いました。それ以前にアズナブールのことをどのくらい知っていたかは忘れましたが、何か興味を惹かれ

たのでしよう。それまでは日本の歌やアメリカンポップスしか聞いていませんでした。今は日本の歌も等身大の内容と感性に溢れたものになりましたが、その頃は何か物足りなく思っていました。

アズナブールの歌からは、自分と恋人の人間としての存在感、とりまく情景、時代、情熱、ペーソス、詩情などの言葉達がうごめきながら投げかけられて来ました。そして、その表現力、言葉がリズムとメロディーの上で踊りながら

した。情報量は三分の一くらいでしょう。日本人には寡黙の良さというものもあります。

皆様もシャンソンと他のジャンルの歌との違いを実感なさっていると思います。そして歌うときの困難さもいろいろ感じられていらつしやるでしょう。私も言葉でメロディーにどうしたらうまく乗せられるか、そして聞く方に手渡してできるかを考えて歌いたいというも思っています。

その後は、シャンソンのことはいつも思いながらも片隅に追いやってきました。もう少し年を重ねてからなどと思つて、子供の歌やポピュラーソング、コーラスを夢中で歌つてまいりました。

少し時間や心の余裕ができた頃、知人の紹介で有馬泉先生の指導を受けることができました。若い頃の記憶が甦るようでした。こう歌つてみたいと思つていた通り、またそれ以上のことを教えていただきました。音の情熱を持つて、あの感激した時のように歌い続けられたらと思っております。



▲庄司 淳氏

たためかけて来ました。そしてその後は、静かな哀愁が流れて行つたのを覚えています。他のジャンルの音楽とは桁違いの内容の多さと深さでした。当時の日本の歌や歌詞は一つの音に一つの音節で

(筆者はシャンソン歌手)

日本生まれのシャンソン

高井 由美子



この曲の作詞は私の歌友達、綱嶋森枝さん。それまで彼女が詞を作っているらしいことは知っていたものの、あまり気にとめていなかったのですが、実際に「デュモン」で、歌になって目の前で披露されるなんて、私にとって新鮮な経験でした。

どこか懐かしく、やさしいメロデー、すぐに気に入り「ぜひ歌ってください」との作者の嬉しい言葉でさっそく練習を始めました。けれどまだまだ未熟な私でなかなか歌にならず、やっと人前で歌えるまで一年以上かかってしまいました。

私が惹かれたのは、母には心の

病があり、親子であるのに隔たりを感じていた子供のころ、その記憶と重なるような言葉がつづられていたからなのでしょうか。誰でも愛が大切なことは分かっています。でも愛がうまく表すことができません。流されてしまったり、強くあたってみたり、愛することの大切さ、難しさをこの歌は「壊れ物にふれるようにそっと抱きしめてください」とやさしく包むような歌詞で、生きていく上で必要なことを何言なく論じているようで、なんだか涙ぐんでしまいそうです。「セピア色のバラード」は、ずっと歌っていききたい私の大切な歌の一つになりました。

●●●セピア色のバラード●●●

作詞 綱嶋 森枝
作曲 日野 敦子

鈍色の部屋には桔梗一輪
秋風は セピア色のメロデー
曇り硝子の窓は 母が眠る閉ざされた病室
愛する人よ 悲しい時には
壊れ物に触れるように
そっと抱きしめて下さい

風に舞う落ち葉は あやうい季節
夕陽を背にした 小さな影
曇り硝子の窓は 悲しい家族が住んでいる
愛する人よ つらい時には
壊れ物に触れるように
そっと抱きしめて下さい

ハロゲンランプの薄明かり
ぼんやりした 動く人影
曇り硝子の窓は 孤独な人が悲しく忍び泣く
愛する人よ 寂しい時には
壊れ物に触れるように
そっと抱きしめて下さい

抱きしめて 下さい



●メロディー・楽譜は発売中の「日本生まれのシャンソン1」に掲載



▲高井 由美子さん



▲ジュリエット・グレコ

彼女は日本にはよく来日していたのでファンも多い。

一九二七年、南仏のモンペリエに生まれる。父はコルシカ人と言われている。母は自分本位に生きる人なのか、グレコが生まれると離婚してさつさと自分の道を歩いている。したがってグレコは母方の祖母に育てられる。祖母が病気になるって、やむなく母のもとに移り住む。

グレコはオペラ座附属のダンス学校に入学するが、第二次世界大戦でナチスが侵攻するや南仏ドルドーニュに移る。

母がレジスタンスに加わっていたのか、ゲシュタポに踏

み込まれて逮捕され、彼女も勾留されてしまうが、意味がないと判断されたのか一ヶ月で釈放される。

平和になって就いた仕事で、ラジオでの詩の朗読だった。

一九四六年、パリの小劇場ゲテ・モンパルナスで女優として初舞台を踏んでいる。

アンヌ・マリー・カザリスに見いだされ、映画で歌手としての仕事を世話してもらう。

一九四九年、歌手としてデビュー、大成を取める。「私は私」「日曜日は嫌い」「街角」などの歌で、しだいに名声を得ていく。

六〇年代前半が彼女のピークとも言えるが、時代の申し子とも言えるのだろうか、ジュリエット・グレコは日本では五〇年代の代表的シャンソン歌手だが、フランスでは必ずしも順風満帆の道を歩んだようではない。

(T・日記)

名訳・迷訳

水夫達が歌っていたものをピアフがヴォケールに詞を書き直させて、彼女自身が晩年歌っていたもの。日本ではいろいろと訳され、歌われている。

MON DIEU

Mon Dieu, mon Dieu, mon Dieu,
Laissez-le moi,
Encore un peu, mon amoureux!
Un jour, deux jours, huit jours,
Laissez-le-moi encore un peu à moi
Le temps de s'adorer, de se le dire,
Le temps de se fabriquer des souvenirs!
Mon Dieu, oh oui.
Mon Dieu, laissez-le moi
Remplir un peu Ma vie!

Mon Dieu, mon Dieu, mon Dieu,
Laissez-le moi,
Encore un peu, mon amoureux.
Six mois, trois mois, deux mois,
Laissez-le moi ou seulement un mois,
Le temps de commencer ou de finir!
Le temps est illuminé pour le souffrir,
Mon Dieu, mon Dieu, mon Dieu,
Même si j'ai tort,
Laissez-le moi un peu,
Même si j'ai tort,
Laissez-le moi encore!



おお神様よ

おお神よ、神よ、神よ、
私に彼を残しておいてください、
もうしばらくの間、私の恋人を。
一日でも、二日でも、八日でも、
私に彼を残してください、もうしばらく、私に、
愛し合い、愛の言葉を誓い交わす時を、
思い出を作る時を。
おお神よ、そう、
神よ、私に彼を残してください、
私の人生を少し充実させるために。

おお神よ、神よ、神よ、
私に彼を残してください、
もうしばらくの間、私の恋人を。
六ヶ月、三ヶ月、二ヶ月、
私に彼を残してください、たった一ヶ月でも、
始める時を、または終わりにする時を。
彼を許すために時は輝きます。
おお神よ、神よ、神よ、
もし私が間違っているとしても、
私に彼をもう少し残してください、
もし私が間違っているとしても、
私に彼をもう少し残してください。

●シャンソンの流れる店

六本木 ピギヤール



ジャズライブハウスが全盛の六本木に、シャンソンの灯をと開いたのがシャンソン歌手神長まさみさんである。かの「銀巴里」出身の彼女が三十三年前にフランス居酒屋として始め、今日ロートレック調の壁画で有名になるまでの年月をいかに頑張ったか想像に値する。

最近では実力のあるシャンソン歌

手を集め、六本木シャンソンフェスティバルを主催、八回目を迎えている。そもそもシャンソン歌手としての出発は「銀巴里」のオーディションを受けた時に始まる。彼女はなんと合格と言われ、シャンソン歌手になったのだと言うが、深緑夏代さんのお弟子さんでもある。某有名デザイナーにそっくりで、

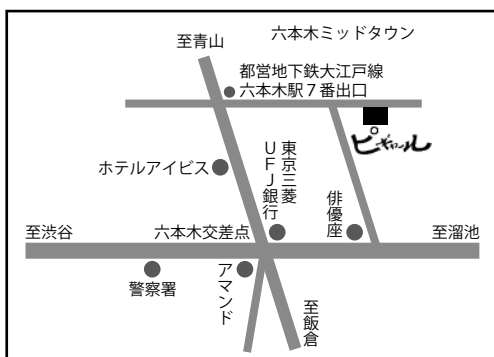
私など初めてあるライブ会場でお会いした時に、本人かと思っただけ。タクシーの運転手にも間違えられて、面白くなかったというエピソードもある。店は一階にあり、三十人ほど入れるスペースの壁には、ロートレックの娼婦の絵が描かれている。歌手にまざり、彼女も歌って聞かせてくれる。

「男をぶつ殺せなんて歌ったら面白いよ」と私が悪口を言うと、あなたの歌は「歌になつていく程度」とお世辞下手である。

(T・H記)



▲神長 まさみさん (ピギヤール店内にて)



東京都港区六本木 4-4-11 第一ヴィレッジビルB1
TEL : 03-3408-9103

シャンソン & ジャズライブ **ピギヤール**

CHANSON RGSシャンソン研究会発行

発売中 日本生まれのシャンソン I

CD・カラオケ付き 定価 2000円 送料300円



●第4回「日本生まれのシャンソン I」を歌う会は平成24年吉日大田区にて開催

●「日本生まれのシャンソン」ホームページ <http://rgschanson.com>